

第10回 弘前非線形方程式研究会

組織委員： 堤 誉志雄 (京都大学)
伊藤 成治 (弘前大学)
津田谷 公利 (弘前大学)
山本 征法 (新潟大学)
岡部 考宏 (大阪大学)
三浦 達彦 (弘前大学)

期間：令和4年12月16日(金) - 17日(土)

会場：弘前大学創立50周年記念会館2階 会議室2 および ZOOM 配信

プログラム (敬称略)

12月16日(金)

- 14:00 - 14:50 鶴見 裕之 (京都大学)
Solutions of the 2D stationary Navier-Stokes equations on the whole plane around a radial flow
- 15:10 - 16:00 加藤 正和 (室蘭工業大学)
Critical exponent for nonlinear wave equations with damping and potential terms
- 16:20 - 17:10 小林 孝行 (大阪大学)
圧縮性 Navier-Stokes-Korteweg 方程式の時間大域解の存在と解の漸近挙動について

12月17日(土)

- 10:00 - 10:50 戌亥 隆恭 (大阪大学/ブリティッシュコロンビア大学)
デルタポテンシャル付き非線形シュレディンガー方程式の閾値解の大域ダイナミクスについて
- 11:10 - 12:00 中里 亮介 (早稲田大学)
Global well-posedness for the quantum Hall-MHD in critical Fourier-Besov spaces
— お昼休み —
- 13:40 - 14:30 前田 昌也 (千葉大学)
Asymptotic stability of small bound state of nonlinear quantum walks
- 14:50 - 15:40 仙葉 隆 (福岡大学)
走化性方程式系に関連する方程式系の解の挙動の閾値について

本研究会は、日本学術振興会科学研究費補助金

- 基盤研究 (B) 「非線形波動・分散型方程式の凝縮現象の解析」
(研究代表者 堤誉志雄 課題番号 17H02853)
- 基盤研究 (S) 「臨界型非線形数理モデルにおける高次数理解析法の創造」
(研究代表者 小川卓克 課題番号 19H05597)
- 基盤研究 (C) 「膨張宇宙モデルにおけるスケール因子が非線形波動に及ぼす影響について」
(研究代表者 津田谷公利 課題番号 18K03351)

の協力を受けて開催されます。